



1 本年度初めての授業参観が行われました。

■11月19日(金)に、本年度初めての授業参観が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため、1学年につき1~2学級ずつ時間をずらしながらの参観となりました。

■振り返ってみると、保護者の皆様へ授業を公開するのは約1年半ぶりで、1,2年生は入学して初めての授業参観となりました。

■授業内容は、1年生は学級活動「みんなの知らない私」、2年生は学級活動「綾瀬ビルのテナントを探せ！」という、班で協力しながら課題を解決したり、班のメンバーと意見交流したりしながら自分や友だちのよさを見つける活動を行いました。3年生は総合的な学習の時間で行ってきたふるさと学習「太宰府学」の集大成「太宰府CM発表会」でした。どの作品も短い時間の中で、太宰府市の魅力を紹介する個性あふれる楽しいCMが制作されていました。



■当日はどの学級も、和気あいあいとした、いつも通りの元気な姿をお見せできたのではないかと思います。今後も子どもたちの様子を積極的に発信していきたいと思っています。



2 「弁当の日」の取り組み

■太宰府中学校では、食事についてご家庭でお子様と一緒に考える機会を創出し、「食」への関心を高め感謝の心を育成し、「食」を通して自分の健康と命の大切さに気づくことができる生徒を育成することを目的に、「お弁当の日」の取り組みを行っています。



■昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでしたが、本年度は11月24日に行いました。

■事前の取り組みとして、家庭科の授業でお弁当作りの計画を立て、自分の実力にあった3つのコース(おかずを一品以上自分で作る「ステップコース」、買い物からできるだけ自分一人で作る「チャレンジコース」、自分の体に合った献立作りからすべて一人で行う「カンペキコース」)の中から選択し、献立を考えました。

■本来ならば、作ってきたお弁当をみんなで見せ合いながら和気あいあいと食べたいところですが、今年はコロナの影響で自分のタブレットでお弁当を撮影し、家庭科の先生に画像を提出した後、一人一人おいしくいただきました。

■生徒が作ってきたお弁当と実践した感想の一部を紹介します。

- *毎朝5時に起きてお弁当を作ってくれるお母さんに「ありがとう」を伝えたいと思いました。(1年生)
- *献立を立てて買い物をすることが大変でしたが、栄養バランスを考えてお弁当を作ることができました。(1年生)
- *味つけや手順は事前にしっかりレシピを見て確認することが大切だと思いました。(2年生)
- *たった一度でこれだけ大変だったから、毎日作ってくれる親はもっと大変だと思うので今まで以上に感謝したいと思います。(2年生)
- *思ったよりも時間がかかったから焦ったけど、おいしく作ることができました。(3年生)
- *これからは少しでも自分でお弁当を作る日を増やしたいと思います。(3年生)



3 輝く★太中生！！

■後期になり、太宰府中学校の生徒がたくさんで活躍しています。その一部を紹介します。
■本校剣道部が、この秋行われた中体連新人戦大会で筑前大会を勝ち抜き、12月11日(土)に岡垣サンリーアイで実施される県大会への出場を決めました。

剣道部・主将コメント

僕たち剣道部は、チームワークと、親やこれまでお世話になった先生方への恩返しを大切に、量より質にこだわった練習を重ねてきました。これまでの練習の成果を十分に発揮し、目標である県大会ベスト4入りができるように頑張ります。応援よろしくお祈りします。



■3年生の夏休みの課題だった国税庁ならびに全国納税貯蓄組合連合会主催の「税の作文」コンクールで、本校3年生のSさんが、見事「法人会会長賞」を受賞しました。

受賞者コメント

僕は、この税の作文の授業を通して「なぜ税を払うのか」ではなく、「税が正しいことに使われているか」を考えることが大切だと思いました。アベノマスク、10万円給付など様々な税の使われ方がありましたが、それらについて一人一人が意見を持ち、その意見を発信していくことが税金を払う側の義務だと考えます。身の回りの笑顔のため、知らない誰かの幸せのため、そして日本の沈没を防ぐために鍵になるのが「税」です。



■筑紫地区愛護連盟主催の善行者表彰で、1年生のWさんが表彰されました。彼女は、重い荷物を持った高齢者に声をかけ、目的地まで運んだそうです。



表彰者コメント

声をかけた方は知らない方で緊張しましたが、荷物を持ったことで「大変助かった、ありがとう。」と言われ、とても嬉しかったです。自分では当たり前のことをしたと思っているので、この先も困っている人がいたら声をかけて助けたいと思います。また、困っている人を助けてあげる人が増えていったらいいなと思います。

■1年生のOさんは、9歳からショートトラックスピードスケートに取り組み、先日行われた全日本ノービスカップで4位に入賞しました。ショートトラックスピードスケートは「氷上の競輪」とも呼ばれ、4〜6人で駆け引きしながら勝敗を競う競技です。みなさんも、冬季オリンピックなどで見たことがあるのではないのでしょうか？ これからの活躍が楽しみです。



入賞者コメント

僕は9歳の頃からショートトラックスピードスケートをしています。中学生になり、初めて西日本選手権大会に出場しました。僕はこの大会で初めて年上の人たちとレースをして、レース展開など技術面でたくさんを学びました。そして、先日行われた全日本ノービスカップで同学年の中で4位になりました。今の僕の目標は、全日本ノービスの強化選手になることです。そのために毎日練習して選ばれるようにがんばっています。

■この他にも、1年生のYさんは、この秋、日本サッカー協会のエリートプログラムU-13フューチャーに選ばれ全国から選抜された選手たちと練習したり、1年生のKさんは、12月中旬に東京で行われるバントワリングのジャパンカップに出場したりするなど、それぞれの分野で、すばらしい活躍をしています。



■また、スポーツ以外でも、2年生の夏休みの課題であった、生命保険文化センター主催の中学生作文コンクール福岡県部門において、2年生のTさん、Sさん、Nさんが見事入賞を果たしました。これからも、太中生のみなさんのますますの活躍を期待しています。